



令和元年上半期 大分税関支署管内貿易概況

令和元年8月14日
門司税關 大分税關支署

県全体の貿易額

輸出額は3,761.3億円、前年同期比9.5%減、5期ぶりのマイナス
映像機器、事務用機器、鉄鋼などが減少
有機化合物、荷役機械などが増加

輸入額は5,953.4億円、前年同期比0.9%減、5期ぶりのマイナス
液化天然ガス、液化石油ガス、銅鉱などが減少
原油及び粗油、揮発油、鉄鉱石などが増加

主要品目

(単位：百万円、%)

輸 出	価 額	前年同期比	構成比	輸 入	価 額	前年同期比	構成比
鉄鋼	107,075	90.2	28.5	銅鉱	147,766	97.0	24.8
有機化合物	59,149	160.7	15.7	石炭	86,294	96.7	14.5
事務用機器	47,451	76.6	12.6	鉄鉱石	102,634	110.5	17.2
銅及び同合金	58,415	89.5	15.5	原油及び粗油	122,810	118.6	20.6
船舶類	27,730	83.4	7.4	液化天然ガス	36,217	53.2	6.1
映像機器	31,723	50.0	8.4	揮発油	45,507	143.6	7.6

港（通関官署）別の状況

- 大 分) 輸出は3,513.5億円、前年同期比8.4%減。映像機器、事務用機器、鉄鋼などが減少
輸入は5,890.5億円、前年同期比0.9%減。液化天然ガス、液化石油ガスなどが減少
- 佐 伯) 輸出は133.3億円、前年同期比33.7%増。船舶類が増加
輸入は32.2億円、前年同期比11.4%増。木材が全増。植物性原材料、船舶類などが増加
- 津久見) 輸出は114.5億円、前年同期比48.6%減。船舶類が減少
輸入は30.7億円、前年同期比17.7%減。石炭、石油コークスが減少
- 大分 空港) 輸出実績なし
- 空港) 輸入は1,749千円、前年同期比4.2倍。電気機器が全増、荷役機械が増加

港 名（通関官署）

(単位：百万円、%)

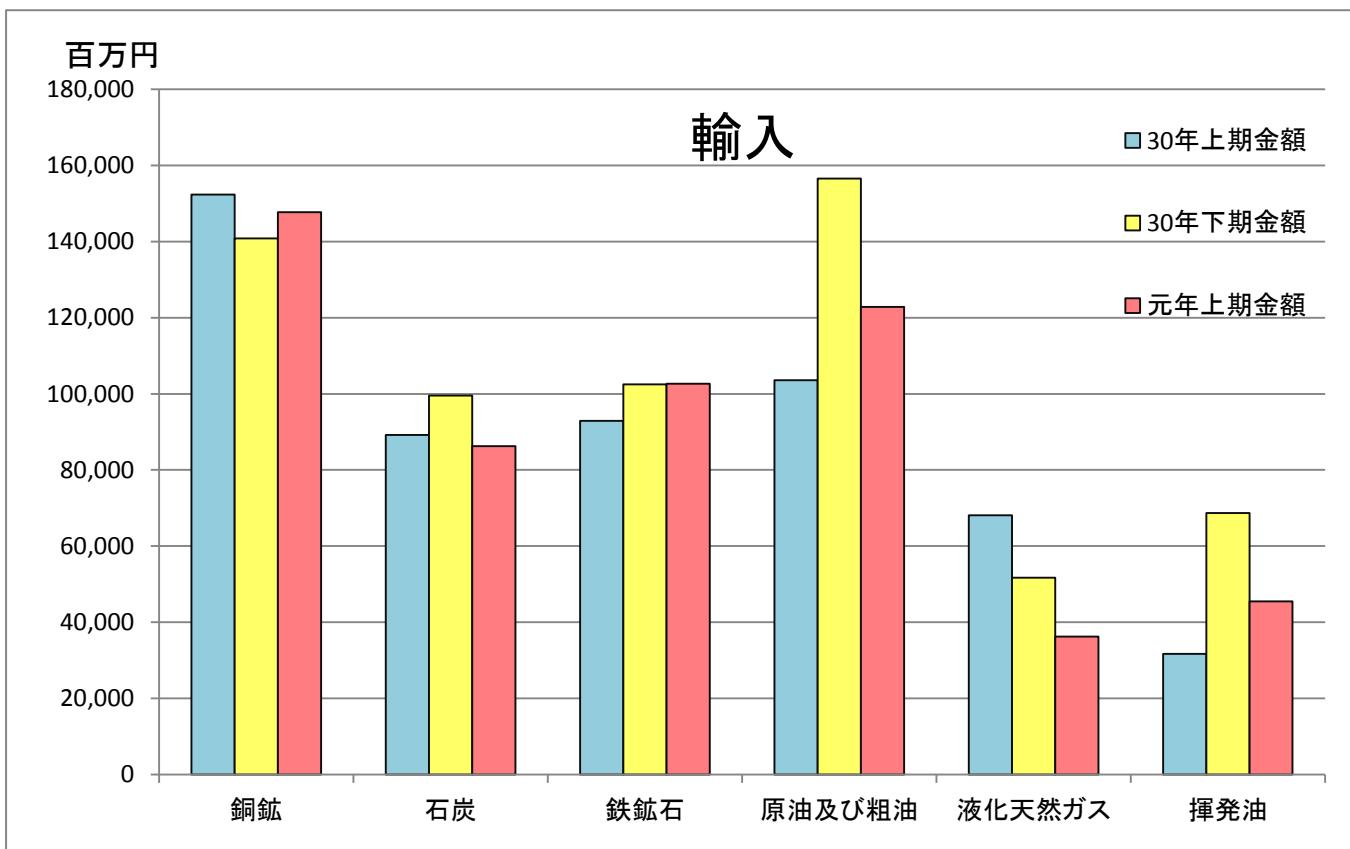
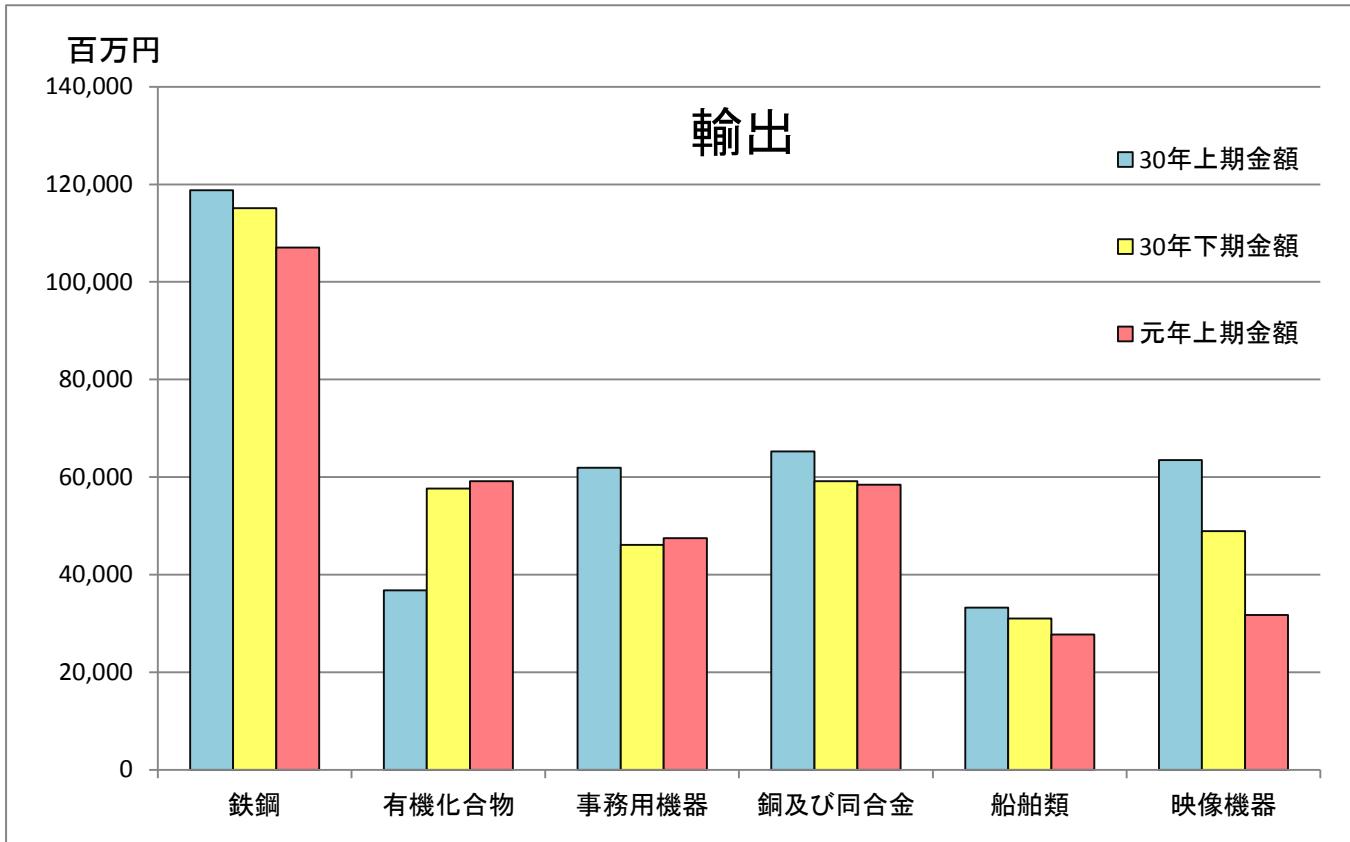
区 分	輸 出			輸 入			差引額	
	価 額	前年同期比		価 額	前年同期比		出・入超	価 額
大 分(大 分)	351,347	91.6	5期ぶりのマイナス	589,053	99.1	5期ぶりのマイナス	入超	237,707
佐 伯(佐 伯)	13,334	133.7	4期ぶりのプラス	3,221	111.4	5期連続のプラス	出超	10,113
津久見(津久見)	11,453	51.4	2期連続のマイナス	3,067	82.3	2期ぶりのマイナス	出超	8,386
大分空港(大分空港)	-	-	-	2,422.5	422.5	4期ぶりのプラス	入超	2
大 分 県	376,133	90.5	5期ぶりのマイナス	595,342	99.1	5期ぶりのマイナス	入超	219,209

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

品目別の状況



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課

シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>

税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>